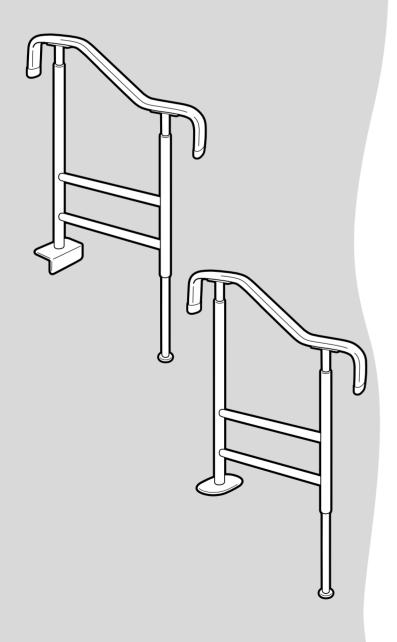


大切にしたい。 自立への気持ちと思いやり。



# 上がりかまち用手すり

K-650L/F KM-650L/F S-650L/F SM-650L/F S-950L/F SM-950L/F SM-1100L/F 取扱説明書

このたびは上がりかまち用手すり シリーズをお求めいただきまして、 まことにありがとうございます。 正しくお使いいただくため、 ご使用前に必ずお読みください。 なお、この取扱説明書は大切に保管 してください。

# もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえ	2~4
取り付けの前に	4.5
組みたてかた	6
取り付けかた	7
使いかた	8
お手入れの方法	9

**ARONKASEI CO.,LTD.** 

## 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に 防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



苗攵 ┦━ 誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」 □□内容を説明しています。



**ニ** 誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が 想定される」内容を説明しています。

- ■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示(図記号)で区分し、説明しています。(下記は絵表示の例です)
- 必ず実行していただく「強制」内容を 説明しています。



してはいけない「禁止」内容を 説明しています。

取付工事店以外の人が分解したり、修理・ 改造は行わないこと

手すりが外れたりして、けがの原因にな ります。



子供を遊ばせる等、 他の用途では絶対 に使用しないこと けがの原因になり ます。



上に乗ったりぶら下がったり しないこと

転倒や落下の恐れがあります。



使用前に木ねじ及び固定ボルトが緩んで ないことを確認してください。ねじが緩 んでいる場合は必ず増し締めをすること 転倒やけがの原因になります。

高さ調節後は必ず固定ボルトがさし込ん であるか確認してから使用すること けがの原因になります。

取り付けは必ず取付工事店が行うこと 取り付けが不安定となり、けがの原因に なります。

必ず同梱の固定金具を使うこと

取り付けが不安定となり、けがの原因に なります。

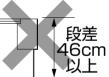
F型タイプを廊下に取り付ける場合は、 下地の強度を確認すること

L型タイプは玄関や勝手口には取り付け ないこと

使用中に木ねじが抜けて、転倒やけがの 原因になります。

段差が46cm以上の場所には取り付けな いこと

スライド脚が使用中に 抜けて転倒し、けがの 原因になります。



アジャスターは1cmを越 えて回さないこと

使用中に抜けて危険です。



1cm超 1

上がりかまちの材質が発泡樹脂等、強度 の弱いかまちには、取り付けないこと 使用中に木ねじが抜けて、転倒やけがの 原因になります。

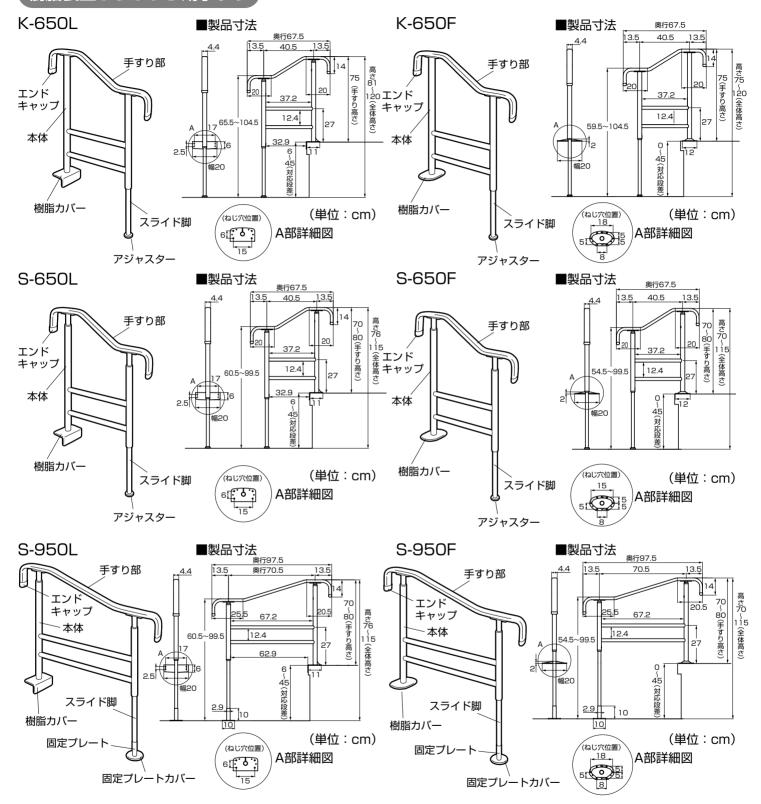
L型タイプは、角形状以外の上がりかま ちには、取り付けないこと

しっかりと固定できず、けがの原因にな ります。



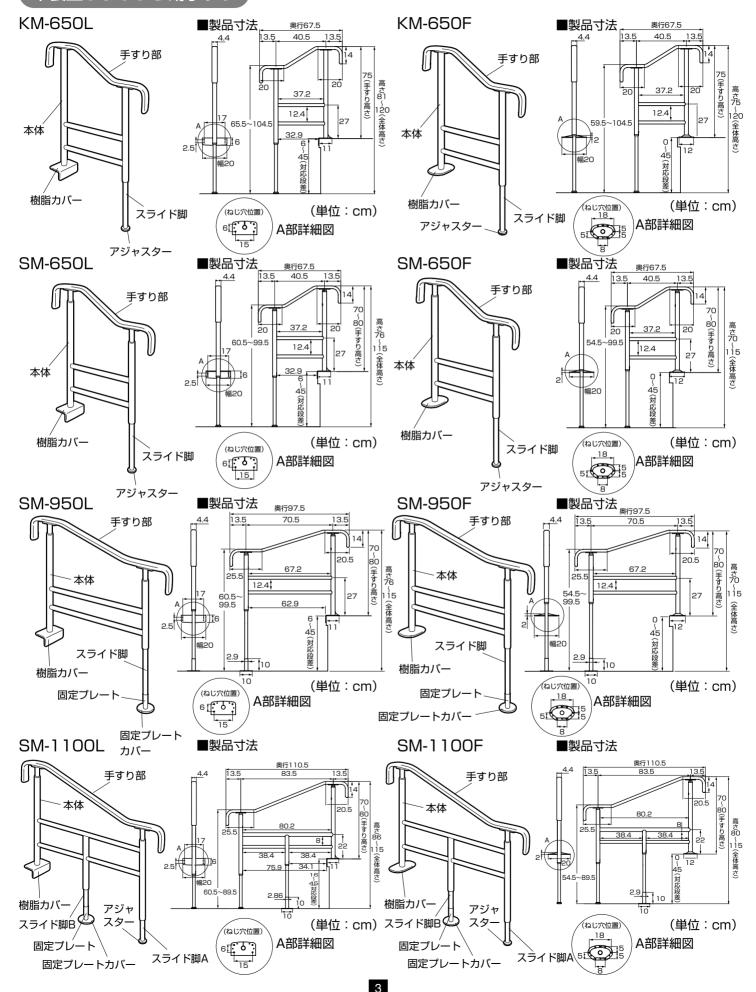
# 各部のなまえ

#### 樹脂製上がりかまち用手すり



# 各部のなまえ

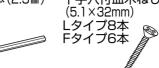
#### 木製上がりかまち用手すり



# 各部のなまえ

#### ■付属品

・六角レンチ1本(2.5m)・十字穴付皿木ねじ ・樹脂カバー





・アンカーボルト ・固定プレート ※S-950L/F ※S-950L/F SM-950L/F SM1100L/F のみ

SM-950L/F SM-1100L/F のみ

・固定プレートカバー **\*S-950L/F** SM-950L/F SM-1100L/F



### l仕様

#### K-650L/F

	部品名	材質
	手すり部	エラストマー
構成	本体・アジャスター	スチール
部品	エンドキャップ	ポリプロピレン
	固定ねじ	ステンレス
	樹脂カバー	ポリエチレン
サイズ	L型:67.5×20×81cm 対応段差:	6~45cm
りイス	F型:67.5×20×75cm 対応段差	: 0~45cm
重量	L型:約4.6kg F型:約4	1.4kg

#### KM-650L/F

	部 品 名	材質
構成	手すり部	タモ積層材
部品	本体・アジャスター	スチール
	固定ねじ	ステンレス
	樹脂カバー	ポリエチレン
サイズ	L型:67.5×20×81cm 対応段差:	
917	F型:67.5×20×75cm 対応段差:	0~45cm
重量	L型:約4.6kg F型:約4	1.4kg

#### SM-1100L/F

	部 品 名	材質
1++_45	手すり部	タモ積層材
構成	本体・アジャスター・固定プレート	スチール
部品	固定ねじ	ステンレス
	固定ボルト(高さ調節用)	スチール
	樹脂カバー	ポリエチレン
	固定プレートカバー	ポリプロピレン
サイブ	L型:110.5×20×76cm 対応段差:	16~45cm
917	F型:110.5×20×70cm 対応段差:	10~45cm
重量	L型:約7.4kg F型:約7	7.2kg
サイズ	固定ねじ 固定ボルト(高さ調節用) 樹脂カバー 固定ブレートカバー L型:110.5×20×76cm 対応段差 F型:110.5×20×70cm 対応段差	ステンレス スチール ポリエチレン ポリプロピレ: 16~45cm

#### S-650L/F

	部 品 名	材質
	手すり部	エラストマー
構成	本体・アジャスター	スチール
部品	エンドキャップ	ポリプロピレン
	固定ねじ	ステンレス
	固定ボルト(高さ調節用)	スチール
	樹脂カバー	ポリエチレン
サイズ	L型:67.5×20×76cm 対応段差:	6~45cm
リイス	F型:67.5×20×70cm 対応段差:	0~45cm
重量	L型:約5.0kg F型:約4	1.8kg

#### SM-650L/F

	部 品 名	材質
構成	手すり部	タモ積層材
	本体・アジャスター	スチール
部品	固定ねじ	ステンレス
	固定ボルト(高さ調節用)	スチール
	樹脂カバー	ポリエチレン
サイズ	サイブ L型:67.5×20×76cm 対応段差:	
リイス	F型:67.5×20×70cm 対応段差:	0~45cm
重量	L型:約5.0kg F型:約4	1.8kg

#### S-950L/F

	部 品 名	材質
	手すり部	エラストマー
構成	本体・固定プレート	スチール
部品	エンドキャップ	ポリプロピレン
	固定ねじ	ステンレス
	固定ボルト(高さ調節用)	スチール
	樹脂カバー	ポリエチレン
	固定プレートカバー	ポリプロピレン
サノブ	L型:97.5×20×76cm 対応段差:	6~45cm
サイズ	F型:97.5×20×70cm 対応段差:	0~45cm
重量	L型:約5.8kg F型:約5	5.6kg

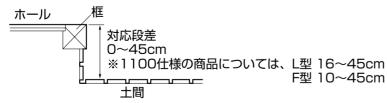
#### SM-950L/F

	部 品 名	材質
144 15	手すり部	タモ積層材
構成	本体・固定プレート	スチール
部品	固定ねじ	ステンレス
	固定ボルト(高さ調節用)	スチール
	樹脂カバー	ポリエチレン
	固定プレートカバー	ポリプロピレン
サイズ	L型:97.5×20×76cm 対応段差:	6~45cm
917	F型:97.5×20×70cm 対応段差:	0~45cm
重量	L型:約5.8kg F型:約5	5.6kg

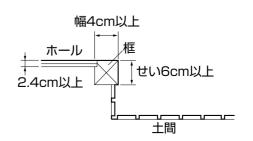
# 取り付けの前に

取り付ける前に下記事項を確認してください。

- ●上がりかまちの形状が角形状であること。
- ●框の高さが0~45cmであること。
- ※1100仕様の商品については、L型 16~45cm F型 10~45cm



- ●上がりかまちの幅が4cm以上で、且つせいが6cm以上で あること。
- ●フラット型タイプを廊下に固定する場合はフローリングと コンパネの厚みが2.4cm以上であること。

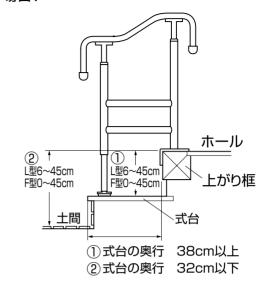


# 取り付けの前に

K-650L/F S-650L/F

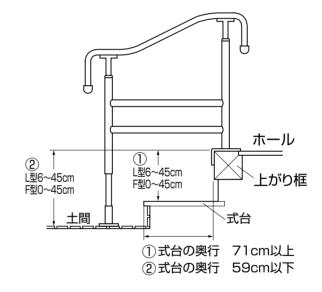
KM-650L/F SM-650L/F を式台がある玄関に設置する場合、

- ①式台の奥行きが38cm以上あり、式台からホールまでの高さがL型6~45cm、F型0~45cm であること。
- ②式台の奥行きが32cm以下で、ホールから土間までの高さがL型6~45cm、F型0~45cmであること。



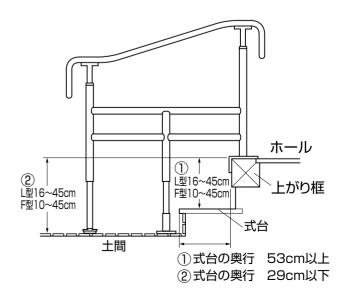
#### S-950L/F SM-950L/F を式台がある玄関に設置する場合、

- ①式台の奥行きが71cm以上あり、式台からホールまでの高さがL型6~45cm、F型0~45cmであること。
- ②式台の奥行きが59cm以下で、ホールから土間までの高さがL型6~45cm、F型0~45cmであること。



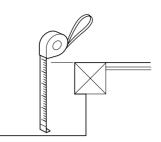
#### SM-1100L/F を式台がある玄関に設置する場合、

- ①式台の奥行きが53cm以上あり、ホールから土間までの高さがL型16~45cm、F型10~45cmであること。
- ②式台の奥行きが29cm以下で、ホールから土間までの高さがL型16~45cm、F型10~45cmであること。



# 組みたてかた

- ■スライド脚を切断して框の段差に合わせます。
- ①手すりを設置する上がり框の段差高さを計ります。



②下表の「スライド脚の切断寸法目安」に基づきスライド脚の長さを切断します。

# ■K-650L KM-650L スライド脚初期寸法 54cm

段差	スライド脚長さ	切断長さ
6~45cm	54cm	切断なし

# ■S-650L SM-650L スライド脚初期寸法 46cm

段差	スライド脚長さ	切断長さ
6~20cm	32cm	14cm
20~45cm	46cm	切断なし

# ■S-950L SM-950L スライド脚初期寸法 56cm

段差	スライド脚長さ	切断長さ
6~29.5cm	33.5cm	22.5cm
28.5~45cm	56cm	切断なし

#### ■K-650F KM-650F スライド脚初期寸法 54cm

段差	スライド脚長さ	切断長さ
0~45cm	54cm	切断なし

#### ■S-650F SM-650F スライド脚初期寸法 54cm

段差	スライド脚長さ	切断長さ	
0~21.5cm	26cm	28cm	
20~30cm	47cm	7cm	
28~45cm	54cm	切断なし	

#### ■S-950F SM-950F スライド脚初期寸法 62cm

段差	スライド脚長さ	切断長さ	
0~17.5cm	27.5cm	34.5cm	
17.5~25cm	45cm	17cm	
25~32.5cm	52.5cm	9.5cm	
32.5~40cm	60cm	2cm	
34.5~45cm	62cm	切断なし	

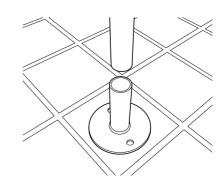
#### ■SM-1100L スライド脚初期寸法 A 36cm B 46cm (支柱A/Bは各部のなまえ参照)

段差	スライド脚A長さ	切断長さ	段差	スライド脚B長さ	切断長さ
16~40cm	33cm	Зст	16~31cm	34cm	12cm
40~45cm	36cm	切断なし	28.5~45cm	46cm	切断なし

#### ■SM-1100F スライド脚初期寸法 A 46cm B 56cm (支柱A/Bは各部のなまえ参照)

段差	スライド脚A長さ	切断長さ	段差	スライド脚B長さ	切断長さ
10~28cm	27.5cm	18.5cm	10~18cm	27cm	29cm
28~45cm	46cm	切断なし	18~28cm	37cm	19cm
_	_	_	28~39cm	47cm	9cm
_	_	_	39~45cm	56cm	切断なし

③S-950L/F SM-950L/F SM-1100L/Fの場合は、 スライド脚に固定プレートを取り付けます。



# 取り付けかた

設置場所を確認してから以下の手順で行ってください。

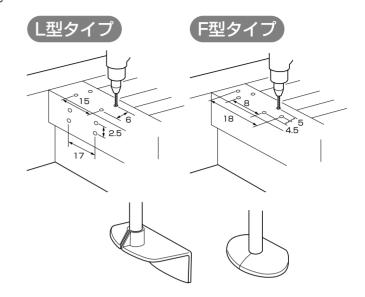
### 框への取り付け方法 全商品共通

- (1)取り付けたい箇所に上がりかまち用手すりを仮設 置し、下穴の位置にけがき印を付け下穴(ドリル径 3.5mm・深さ約3cm) を開けます。
- ※設置する際は壁際から2cm以上離して取り付けて ください。樹脂カバーが取り付かなくなります。
- ②手すり本体を下穴に合わせて設置し、付属の木ね じ(5.1×32mm)で台座を固定します。

/!\ 注意

L型の固定座は前面からねじを締 めつけること

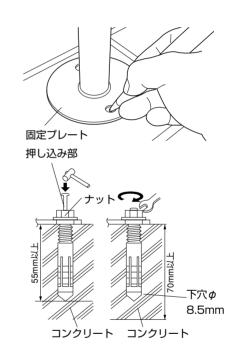
③最後にかまち固定部にカバーをはめます。



### 玄関床への取り付け方法

S-950L/F SM-950L/F SM-1100L/F

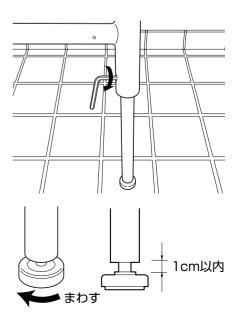
- (1)スライド脚をアンカーボルトで固定するため固定プ レートのねじ穴にけがき印を付け、下穴(ドリル径 **08.5mm・深さ5.5cm以上**)を開けます。
- ②框の段差に合わせてカットしたスライド脚と固定プ レートを設置し、下穴にアンカーボルトを差し込み、 アンカー押し込み部の先端がナットの先端に接する まで打ち込んで、最後にスパナでナットを締め付け 固定します。



### スライド脚固定方法

K-650L/F KM-650L/F S-650L/F SM-650L/F

- ①框の段差に合わせてカットしたスライド脚を框の 高さに調節し、付属の六角レンチ(2.5mm用)で 固定します。
- ②アジャスターをスライド脚が突っ張るまで回し固 定します。



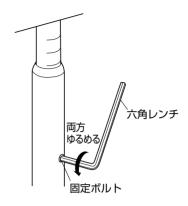
# 使いかた

で使用になる前に、利用者の体形に合わせ手すりの高さを調節できます。 手すり開封時に高さ70cmに設定されています。

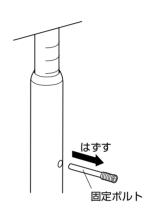
①付属の六角レンチ(2.5mm用)を使用して固定ボルトをゆるめます。(2箇所)

⚠ 注意

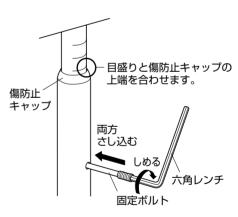
片側のみ先に外すとスライド支柱 が持ち上がり、反対側のボルトが 抜けにくくなります。



②固定ボルトを外します。



③手すりをスライドさせ、調節したい高さの目盛りに傷防止キャップ上端を合わせます。

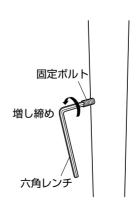


④固定ボルトを両方の穴に差し込み、片側を六角 レンチ(2.5mm用)で仮締めした後、反対側 を締めつけ固定します。

最後に仮締めした固定ボルトを増し締めします。

**注意** 

高さ調節完了後、固定ボルトが確実 に固定されているか確認すること 手すりが落下し、けがの原因になります。



# お手入れの方法

- ●お手入れはやわらかい布でから拭きするか、固くしぼった布で水拭きしてください。
- ●汚れがひどい時は中性洗剤をしみこませたやわらかい布で拭き、その後水拭きを してから乾いた布で水分をきれいに拭き取ってください。

## <u></u>注意

※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと

※塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと

プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。



